

## 『R で学ぶプログラミングの基礎の基礎』正誤表

弊社出版書籍『R で学ぶプログラミングの基礎の基礎』本文中に誤りがありました。  
お詫びして訂正いたします。

作成日:2016-3-31 、更新日:2016-4-14

---

24 頁, 4 行目

(誤)

(1) R を起動してください。

(正)

(1) R Studio を起動してください。

24 頁, 下から 1 行目

(6) R を終了してください。

(正)

(6) R Studio を終了してください。

45 頁, 8 行目

(誤)

(2) 変数  $x$  の長さを調べてください。

(正)

(2) 変数  $x$  の値の文字数を調べてください。

54 頁, 8 行目

(誤)

例えば  $4^{(3)}$

(正)

例えば  $4^3$

93 頁, 真ん中の図

(誤)

$15 \times 10^3 + 6 \times 10^2 + 10 \times 10^1 + 3 \times 10^0 = 63139$

(正)

$15 \times 16^3 + 6 \times 16^2 + 10 \times 16^1 + 3 \times 16^0 = 63139$

94 頁, 11~12 行目

(誤)

$10 \times 16^{(3-1)} = 10 \times 16^2$  を計算し,

(正)

$10 \times 16^{3-1} = 10 \times 16^2$  を計算し,

134 頁, 2 行目

(誤)

まず, 関数  $f(x) = \underline{x^2}$  のグラフ

(正)

まず, 関数  $f(x) = \underline{x^2}$  のグラフ

134 頁, 下から 6 行目

(誤)

また, 関数  $f(x, a) = \underline{x^a}$  のグラフ

(正)

また, 関数  $f(x, a) = \underline{x^a}$  のグラフ

137 頁, 1 行目

(誤)

(2) 関数  $f(x) = \underline{x^2-2}$  のグラフ

(正)

(2) 関数  $f(x) = \underline{x^2-2}$  のグラフ

140 頁, 3 行目

(誤)

このようなベクトルを並べ替え (ソート)

(正)

このようなベクトルを 値が小さい順に並べ替え (ソート)

149 頁, 上の図

(誤)

↑

$i = \underline{2}$

(ここでストップ)

(正)

↑

i=1

(ここでストップ)

167 頁, 1 行目

(誤)

以上の解説を参考に, 前もってソートされた

(正)

「10.1 バブルソート」で行ったような, 値が小さい順にソートされた

199 頁, 1~3 行目

(誤)

ちなみに, 関数 mode() を使用すると, その変数が何の型かを表示してくれます.

> mode(x)

[1] "numeric"

(正)

ちなみに, 関数 typeof() を使用すると, その変数が何の型かを表示してくれます.

> typeof(x)

[1] "double"

以上